

第6学年国語科学習指導案

日時 平成28年9月28日(水)

児童 6年 男子12名 女子8名 計20名

- 1 単元名 物語を読んで交流し、考えを深めてリーフレットにまとめよう
中心学習材 海のいのち(東京書籍 6年)
補助学習材 「山のいのち」「川のいのち」「田んぼのいのち」など、同作者の作品

2 付けたい力と言語活動

《主となる指導事項》

- ◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。(読エ)
- 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。(読オ)

《付けたい力》

- 中心となる人物の心情の変化とその理由を読み取り、自分の成長や生き方に生かしたいことを考えて表現する力。
- 友達との共通点や相違点をとらえながら、自分の考えを広げたり深めたりする力。

《言語活動とその特徴》

- ◇物語を読んで交流し、自分の成長や生き方に生かしたいことについて考えを深めてリーフレットで紹介する。
- ◆物語を読んで中心となる人物の心情の変化とその理由を読み取るためには、登場人物の相互関係をとらえ、それらに基づいて心情や場面の描写をとらえることが必要である。従って、中心となる人物の心情の変化とその理由を読み取ることで、自分の成長や生き方に生かすことができる。と考える。

3 単元について

(1) 児童について

児童は、「読むこと」のエ「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」に関して、第5学年のときに、10月学習材「注文の多い料理店」において、物語の構成や表現の工夫を見付けて、作品のよさを解説する学習をしてきた。また、第6学年の5月学習材「風切るつばさ」において、人物と人物との関係を手がかりに、中心となる人物の心情の変化をとらえることも学習してきた。

これまでの学習の中で児童は、物語を通して、中心となる人物の変化や物語の山場を考えるなど、様々な言葉の力を身に付けてきている。そこで本単元では、積み上げてきた読む力を総合的に生かしながら、中心となる人物の心情の変化とその理由を読み取り、物語の内容を十分理解したうえで、自分が物語から受けたこれからの成長や生き方に生かしたいことを考えて表現する力を付けられるようにしたい。

(2) 学習材について

第6学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。これを受けて本単元では、「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。」を主目標とする。

中心学習材「海のいのち」は、中心人物である太一が、父や与吉じいさなどの周りの人物との関わりを通して漁師としての生き方や海に対する考え方を学び、成長していく物語である。太一の生涯が少年から青年、壮年になるまでの6つの場面で描かれ、場面展開がはっきりした構成になっているため、構成をとらえることによって、作品の山場や太一の考え方・生き方が読み取りやすい。また、太一を軸に「海」で生きるそれぞれの人物との関係をとらえながら読むことで、太一の心情の変化とその理由について読み取ることもできる。よって、本学習材は、物語を読んで、自分の成長や生き方に生かしたいことをリーフレットで紹介する言語活動に適していると考えられる。

(3) 指導について

第一次では、扉の絵や題名をもとに学習材への関心を高め、物語を読もうとする意欲喚起を行う。その後、教師が作成したリーフレットを提示する。リーフレットは、「あらすじ」、「主人公の生涯」、「人物相関図」、「自分の成長や生き方に生かしたいこと」の構成で作成し、この構成要素をもとに、学習計画を立てることで学習への見通しを持たせる。

第二次では、中心学習材「海のいのち」における中心人物である太一の心情の変化とその理由を読み取るために、文章構成と物語のあらすじ、時系列に沿って太一の生涯を確かめる。児童が物語のおおまかな内容をつかめたら、人物相関図を太一の成長や生き方に影響を与えた人物に着目してまとめる。人物相関図をまとめることで、太一の成長や生き方の基盤となる考え方・生き方をとらえさせる。その際、物語の山場の描写をとらえ、太一の漁師としての生き方にもっとも影響を与えたことが伝わる一文を見つける。そして、その一文について、叙述を基に根拠を持つ。叙述を基に読み取った太一の生き方は、友達と話し合っ深め、自分の成長や生き方に生かすことができるようにリーフレットにまとめて交流する。児童が自分の考えをリーフレットにまとめる言語活動を行うにあたり、まとめ方の例示や表現語彙を与え、交流に向けて自分の考えを分かりやすく書けるようにする。また、友達との交流によって深まった考えを、もう一度見つけ直すことでさらに自分の考えを深められるようにしたい。

第三次では、第二次での学習を基に、並行読書で自分が選んだ物語について、「〇〇のいのち」リーフレットにまとめ、友達と読み合い、交流する。児童同士が、自分がまとめたリーフレットを基に友達と交流することで、友達との共通点や相違点をとらえながら、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。

<中心学習材と言語活動>

4月 「サボテンの花／生きる」 物語や詩を読んで、感じたことや考えたことが表れるように朗読する。 (朗読発表会)	5月 「風切るつばさ」 登場人物の心情の変化を、「心情分析表」にまとめる。 (心情分析表)	9月(本単元) 「海のいのち」 物語を読んで交流し、自分の成長や生き方に生かしたいことについて考えを深めてまとめる。 (リーフレット)	12月 「ヒロシマのうた」 読んだ物語に関連する本を読み、友達に読んでほしい本を推薦する。 (推薦文)
---	--	--	--

4 単元の指導目標と評価規準，指導計画

(1) 単元の指導目標

- 登場人物の生き方に関心を持ち，自分の経験や体験と重ねながら自分自身を見つめ直そうとする。
【関心・意欲・態度】
- ◎場面構成や登場人物の相互関係に基づいた行動や会話から，中心人物の心情の変化を読み取り，自分の成長や生き方に生かしたいことを考え，まとめることができる。【読むことエ】
- 友達との共通点や相違点をとらえながら，自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
【読むことオ】
- 自分の成長や生き方に生かせる大事な言葉や表現の工夫などをとらえることができる。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ケ)】

(2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○登場人物の生き方に関心を持ち，自分の経験や体験と重ねながら自分自身を見つめ直そうとしている。	◎場面構成や登場人物の相互関係に基づいた行動や会話から，中心人物の心情の変化を読み取り，自分の成長や生き方に生かしたいことを考え，まとめている。(Cエ) ○友達との共通点や相違点をとらえながら，自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)	○自分の成長や生き方に生かせる大事な言葉や表現の工夫などをとらえている。(伝国(1)イ(ケ))

(3) 単元指導計画 (全9時間)

	【主な学習活動】	【評 価】
<p>第一次 単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。</p>	<p>①リーフレットの構成要素について知り、学習計画を立てる。</p>	<p>①リーフレットの構成要素に関心を持ち、学習の見通しを持っている。</p>
<p>第二次 「海のいのち」リーフレットを作る。</p>	<p>②「海のいのち」のあらすじと太一の生涯を時系列に沿ってリーフレットに書くことで、文章構成を確かめる。</p> <p>③人物相関図をリーフレットに書くことで、太一と周りの人物との関わりをつかむ。</p> <p>④「海のいのち」の山場の描写をとらえ、太一の漁師としての生き方にもっとも影響を与えたことが伝わる一文を見つける。</p> <p>⑤太一の漁師としての生き方にもっとも影響を与えたことが伝わる一文について、叙述を基に根拠を持って話し合う。 (本時)</p> <p>⑥リーフレットにまとめることで、太一の考え方・生き方を通して自分の考えを深める。</p>	<p>②物語のあらすじと太一の生涯を時系列に沿ってリーフレットにまとめている。 (Cエ) (ワークシート)</p> <p>③太一を取り巻く人物の相互関係に着目し、人物相関図をリーフレットにまとめている。 (Cエ) (ワークシート)</p> <p>④作品の山場の描写をとらえ、太一の漁師としての生き方にもっとも影響を与えたことが伝わる一文を見つけている。 (Cエ) (ワークシート)</p> <p>⑤太一の漁師としての生き方にもっとも影響を与えたことが伝わる一文について、叙述を基に根拠を書いている。 (Cエ) (ノート, ワークシート)</p> <p>⑥友達との話し合いを通して深まった、太一の考え方・生き方に対する自分の考えをリーフレットにまとめる。(Cエ) (ワークシート)</p>
<p>第三次 並行読書で自分が選んだ物語について、「〇〇のいのち」リーフレットを書いて紹介する。</p>	<p>⑦⑧ 「海のいのち」の読み方を生かして、自分が選んだ物語のリーフレットを作る。(あらすじ、人物相関図、自分の成長や生き方に生かしたいこと。)</p> <p>⑨リーフレットを友達と読み合い、交流する。</p>	<p>⑦⑧ 「海のいのち」の読み方を生かして、自分が選んだ物語をリーフレットにまとめている。 (Cエ) (ワークシート)</p> <p>⑨友達との共通点や相違点をとらえながら、自分の考えを広げたり深めたりしている。 (Cオ) (ワークシート)</p>

並行読書

5 本時の指導

(1) 目標

太一の漁師としての生き方にもっとも影響を与えたことが伝わる一文について、叙述を基に根拠を持って友達と話し合い、自分の考えを深めることができる。

(2) 展開

段階	学習内容	指導の要点・評価
		○指導の要点 ・指導の留意点 ※評価個所
導入 4分	1 これまでに学習した太一の変容を確認する。 2 本時の学習課題を確認する。 ・課題を確認する。	・学習掲示で確認する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> リーフレットに太一の生き方をまとめるために、太一の漁師としての生き方にもっとも影響を与えたことが伝わる一文について、叙述を基に根拠を持って話し合おう。 </div>	
展開 37分	3 学習課題を解決する。 (1) 学習の進め方を確認する。 ・学習の流れを確認し、学びのイメージを持つ。 (2) 自分が選んだ一文について根拠を考える。 ・「海のめぐみだからなあ。」 ・「千びきに一びきでいいんだ。千びきいるうち1びきをつれば、この海で生きていけるよ。」 ・水の中で太一はふっとほほえみ、口から銀のあぶくを出した。 ・「おとう、ここにおられたのですか。また会いに来ますから。」 ・大魚はこの海のいのちだと思えた。 (3) 読み取った内容を交流する。 ・根拠を基に自分と友達の考えの共通点や相違点を意識しながら交流する。	・学習の流れを学習掲示で確認する。 ○前時に見つけた太一の漁師としての生き方にもっとも影響を与えたことが伝わる一文について、太一の行動や会話などの叙述を基に根拠を持たせる。 ※評価規準 B 太一の漁師としての生き方にもっとも影響を与えたことが伝わる一文について、叙述を基に根拠を書いている。 (Cエ) (ノート, ワークシート) ・交流は、できるだけ同じ一文を選んだ児童同士のグループで行わせる。 ○根拠を基に自分と友達の考えの共通点や相違点を意識しながら交流するように声をかける。 ・グループでの交流において、自分とは違う考えなどを記入するよう、声をかける。

	<p>(4) 読み取った内容を全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クエに出会い、父の敵だから殺したいと思ったけれど、太一はクエと父を重ね、殺したくないと迷ったから。 ・与吉じいさの教えを思い出したから、モリを下ろした。 ・父や与吉じいさのいのちが帰った海に生きる物は、全て尊い海のいのちであるように思えたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・父や与吉じいさが死ぬまで愛した海（自然）を大切に守って生きていくこと、この世界に生きる生物一つ一つの「いのち」を大切に生きることなどを、児童の発言を板書に整理して気付かせる。 ○太一の考える漁師像を「漁師」という職業を通して考えさせる。
終末 4分	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習感想を書く。 <p>5 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習や友達の考えを通して分かったことや気付いたこと、考えの変容などを書く。

(3) 板書計画

【漁師】

- ・魚を獲ることが仕事。
- ・たくさん魚を獲って売ればお金持ちになれる。
- ・魚が獲れないと生きていけない。

海
の
いのち

立松 和平

課題

リーフレットに太一の生き方をまとめるために、

太一の漁師としての生き方にもっとも影響を与えたことが伝わる一文について、叙述を基に根拠を持って話し合おう。

太一の漁師としての生き方にもっとも影響を与えたことが伝わる一文

- ・「海のめぐみだからなあ。」
- ・「千びきに一びきでいいんだ。千びきいるうち一びきをつれば、この海で生きていけるよ。」
- ・水の中で太一はふっとほほえみ、口から銀のあぶくを出した。
- ・「おとう、ここにおられたのですか。また会いに来ますから。」
- ・大魚はこの海のいのちだと思えた。

↓

- ・クエに出会い、父の敵だから殺したいと思ったけれど、太一はクエと父を重ね、殺したくないと迷ったから。
- ・与吉じいさの教えを思い出したから、モリを下ろした。
- ・父や与吉じいさのいのちが帰った海に生きる物は、全て尊い海のいのちであるように思えたから。

〈学習の流れ〉

- 1、自分が選んだ一文について根拠を考える
- 2、グループで交流する
- 3、全体で交流する
- 4、ふり返りをする
- 5、次の学習を確認する